

SGI[®] InfiniteStorage NAS

ハイパフォーマンスNAS

特長

- ・ゲートウェイ型NAS
- ・シームレスなシステム拡張
- ・多彩なストレージオプション

SGI InfiniteStorage NASプラットフォームは、次世代ネットワーク・ストレージ・システムです。高いパフォーマンスや高いスケーラビリティを実現すると同時に、多様なアプリケーション間でのストレージ統合を可能にします。また、SGI InfiniteStorage NASは、これまでのネットワーク・ストレージにとって不可欠であったストレージ・サイロというアプリケーションごとに分断されたストレージ構成を取り除き、複数のアプリケーションを同時にサポートするとともに、多様なアプリケーション間で多数のユーザからの同時アクセスを実現します。この特長により、ストレージ管理を簡略化し、インフラストラクチャ・コストを大幅に削減します。

かつてないハイパフォーマンスを実現するNAS

SGI InfiniteStorage NASシステムのパフォーマンスは妥協を許しません。同時に、大規模ファイルシステムの管理およびデータの可用性など、ネットワーク・ストレージ管理の課題を解決します。グローバル・ネームスペースが、物理的な場所に関係なく、データの単一論理ビューを作成します。また、クラスタ・ネームスペース機能が仮想サーバおよび物理ノードの管理を簡略化します。ストレージ使用率やパフォーマンスの要件が変更されても、データへのユーザ・アクセスには影響はありません。InfiniteStorage NASの各ノードやクラスタは、64もの仮想サーバに分割が可能です。各サーバには、IPアドレス、ポリシーおよびファイルシステムを設定できます。これらの仮想サーバをクラスタ内で管理することで負荷分散が可能になり、キャパシティを管理できるようになります。動的なストレージ分散によって、最大数の利用可能スピンドル間でデータをストライプし、パフォーマンスおよびリソース使用効率が最適化されます。キャパシティが追加されると、新しいスピンドルが即座に使用可能となりパフォーマンスが向上します。

ストレージ・ティア管理

ルールに基づいたポリシーをSGI InfiniteStorage NAS上で実装でき、最もコスト効率の良いストレージ管理スキームが自動的に使用されます。データはストレージ・ティア間で自動的にマイグレーションされ、エンド・ユーザに対して完全に透過となっています。そのため、ファイルシステムへの変更は一切不要です。動的なリード・キャッシングによって、アクセス・ファイルを即座にマイグレーションすることが可能であり、低いパフォーマンスのティアから、SSDまたは高いパフォーマンスのディスク・ドライブへと即座にデータを移行できます。こうして、ピーク時の総バンド幅を増加させ、応答時間を向上します。

ストレージ・エコシステムの最適化

SGI InfiniteStorage NASプラットフォームは、ハイブリッド・アーキテクチャを活用し、ミッドレンジ・システムで最高のパフォーマンスを実現します。FPGA (Field Programmable Gate Array) およびマルチコア・プロセッサを採用することで、ハイブリッド・アーキテクチャが、通常はシステム・リソースの取り合いになるデータ移動およびデータ管理プロセスを分離します。データは論理ブロック間においてポイント・ツー・ポイント方式で転送されるため、競合やボトルネックが発生せず、高いパフォーマンスが一貫して実現されます。また、ハイブリッド・アーキテクチャは、高度なデータ管理サービスおよび統合ストレージ・エコシステムと連携し、最適化したストレージ・ソリューションを実現します。エントリー・レベルの構成においては、SGI InfiniteStorage NASの単一ノードおよびクラスタは、内蔵されたSANポートを使用してストレージ・アレイに直接接続できるため、インフラストラクチャが簡略化されます。また、高度な構成では、ファイバ・チャンネルSANを実装することで、LANを使用しないデータ移動およびデータ・パスの完全冗長化が可能となります。さらには、このアーキテクチャによって、個々のソリューションを自在にスケール・アップすることができます。



SGI® InfiniteStorage NAS

	NAS 50	NAS 100
クラスター・ノードの最大数	2	4
最大キャパシティ	1PB	2PB
ノードごとのIOPS	最大60,000	最大100,000
ノードごとのNFS スループット	最大700 MB/s	最大1,100 MB/s
ファイルシステムの最大サイズ	128 TB	256 TB

ハードウェア

システム・メモリ

4GB NVRAM

NVRAMバッテリー

ホットスワップ対応 (72時間リカバリ・ウィンドウ)x1

LANインタフェース

6 x 1 GbE, 2 x 10 GbE, デュアル接続およびポート集約をサポート

バックエンド・インタフェース

4 x 4 Gb ファイバ・チャネル

クラスタリング

2 x 10 GbE, アクティブ/アクティブ(HA構成)

プライベート管理ネットワーク

2 x 1 GbEネイティブ・ポート、5 x 100 MbEスイッチ・ポート

冷却ファン

ホットスワップ対応x3

電源

負荷分散、ホットスワップ対応x2

ソフトウェアの機能

管理インタフェース

GUIおよびCLIベースの管理

標準機能

- ・スナップショットおよびクイック・リストア
- ・仮想サーバ
- ・仮想ボリューム
- ・仮想ストレージ・プール
- ・ストレージ分散
- ・ストレージ割当 - ボリューム、グループまたはユーザごと
- ・NDMP
- ・アンチウイルス・サポート
- ・RAIDレベル 1、10、5、および6

オプション機能

- ・データ・マイグレータ
- ・動的なリード・キャッシング
- ・アクティブ/アクティブ・クラスタリング
- ・グローバル・ネームスペース
- ・レプリケーション
- ・スナップショットからのファイルシステム・ロールバック
- ・仮想サーバのマイグレーション
- ・セキュアな仮想サーバ

ソフトウェアおよびファイルシステムの仕様

Network File Systemプロトコルのサポート

- ・ Common Internet File System (CIFS)
- ・ Network File System (NFS) - v2, v3, v4
- ・ iSCSI

ネットワーク伝送プロトコル

- ・ NDMP v2, v3, およびv4
- ・ ファイル転送プロトコル (FTP)
- ・ イーサネット
- ・ TCP/IP
- ・ UDP

ネームスペースごとのファイルシステム数

128

ディレクトリ・エントリの数

1,600万

ファイルシステムごとのスナップショットの数

1024

仮想ボリュームの数

10,000

仮想サーバの数

64

IPアドレスの数

256

電源

電圧範囲

100~240 VAC

アンペア数(平均/最大)

- ・ 110 VAC - 2.3A / 2.8A
- ・ 208 VAC - 1.2A / 1.5A
- ・ 230 VAC - 1.1A / 1.4A

定格電力

450W

平均消費電力

250W(最大310W)

熱平均

853 BTU/hr(最大1057 BTU/hr)

シャーシ寸法

ラックの高さ

3 U

高さ

12.9 cm

幅

43.7 cm

奥行

68.5 cm

最大重量

24.9 kg

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階



TEL: 0120-161-086 FAX: 0120-161-087

<http://www.sgi.co.jp>

本社 TEL: 03-5488-1811 (大代表) FAX: 03-5420-7201
 西日本支社 TEL: 06-6479-3918 (代表) FAX: 06-6479-3919
 中部支社 TEL: 0565-35-2561 (代表) FAX: 0565-35-2189
 つくば・東北事業所 TEL: 029-858-1551 (代表) FAX: 029-858-1071
 東北営業所 TEL: 022-221-2301 (代表) FAX: 022-221-2304
 北海道営業所 TEL: 011-708-1511 (代表) FAX: 011-758-2789

© 2009 SGI Japan, Ltd. All Rights Reserved. 仕様は予告なしに変更される場合があります。Silicon Graphics、SGI、SGI のロゴマーク、およびSGIのキューブは日本SGI株式会社の登録商標です。その他の商標、登録商標、商標名、企業名、およびロゴマークの所有権は、それぞれ所有者に属しています。(12/2009)



日本SGIは地球環境に優しい企業を目指しています

このカタログは、環境に配慮した植林木を使用しております。
 日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や燃料等の資源消費量やCO2排出量の低減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。